



# 落二中だより

令和2年3月19日

第11号

新宿区立落合第二中学校

## 「振り返ること」



月日の経つのは早いもので、卒業、修了を迎えることになりました。三年生の皆さん、三年間お疲れ様でした。最上級生としての自覚をしっかりともち、最後まで頑張ってお校の良き伝統と歴史を刻み込んでくれました。三年生の皆さんは、人生の大きな節目の一つである義務教育最後の日、卒業式を迎えます。例年とは異なった卒業式になりますが、卒業式が実施でき、皆さんを温かく見守ってくれたご家族が参列できることに感謝して下さい。そして、最高の笑顔と心に秘めた思いをもって有終の美を飾ってください。

また、1, 2年生も人生の節目である進級をしていきます。それぞれ、節目のもつ意味には違いがありますが、竹と同じように人間も人生の中で節目があるからこそ、強くまっすぐに大きく成長できるのです。

これから、生徒の皆さんには長い人生が待ち受けていますが、よりよく生き抜くためにはどのように節目を迎えていくかがとても大切です。節目を節目としてとらえられるか否かで、その数は人によって違ってくると思います。生徒の皆さんは、学習や人間関係など様々な困難や課題を抱えているかもしれません。だからこそ、進学や進級する1年の終わりなど成長の節目で、しっかりと振り返りを行い、新たな目標をもって前へ進むことが大切になります。その積み重ねが竹のようなしなやかさと力強さの源となる節を築き、これから出会う様々な出来事に対応できる知恵や力となります。その時その時にしっかりと振り返りを行い、節目の数を多くしていくことが人生を豊かにすることだと思います。



4月からは新たな出会いがあります。その出会いを大切に、新たな目標をしっかりとをもって前へ進んでくれることを期待しています。

最後になりましたが、保護者、地域の皆様には日々の教育活動へのご理解とご支援をいただきありがとうございました。これからもご理解、ご協力、ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

## ☆ 学年主任より ☆

3年前の春、ドキドキワクワクしながら入学してきた3年生が、今日卒業式を行いました。例年とは違う形での式となりましたが、3年生のみなさんと保護者の方々と今日という晴れの日迎えられたことは何よりも嬉しいことでした。胸をはって卒業証書を受け取る姿は、誇らしく堂々としており、義務教育9年間の成長を感じました。

さて、みなさんは今日この落合第二中学校を卒業し、一人一人が自分の選んだ道を進んでいくことになります。その道を進んでいく時、もしかしたら、「自分にはどうせできないな」や「やっぱりやめればよかった」など、ネガティブな気持ちになってしまう時があるかもしれません。また他の人と自分を比較し、自信を失ってしまうこともあるかもしれません。しかし、一回や二回失敗したっていいのです。

『一歩を踏み出せるなら、もう一歩も踏み出せる』アメリカのロッククライマーのトッド・スキナーさんの言葉です。中学校卒業後は、自分で自分の道を切り拓いていくしかありません。Never Give Upの精神をもって挑戦し続けてください。自分を信じ、挑戦することで、自分の道は開かれていきます。みなさんのこれからの活躍に期待しています。

落合第二中学校でみなさんに出会えたことは、私達の宝物であり、喜びです。3年間本当にありがとうございました。そして、ご卒業おめでとうございました。

最後になりましたが、保護者のみなさまには、3年間本校の教育活動にご理解ご支援賜り本当にありがとうございました。



3 学年主任 宮本 司

思い出の修学旅行

「凡事徹底」「人数のせいにしてない」を掲げ、過ごしてきた今年度。いよいよ2年生のまとめ、そして最上級生になるための準備を…と置いていたところで休校となってしまう、平穏な日々はあたりまえではないのだとあらためて感じています。まだまだ先が見えない状況、進路選択をしていく3年生に進級するにあたって、学年としても授業は？行事は？…気になることはたくさんあります。しかし、不必要に慌てたり焦ったりせず、一つ一つ学年教員を中心によく検討し、対応していきたいと考えています。また、こんな時だからこそ、生徒の皆さんには自分で学ぶ力を養ったり、自分にできることを探し、適切に行動したりしてほしいと強く思っています。

1年間、保護者・地域の皆様には学校の様々な活動を支えていただきました。大変お世話になり、ありがとうございました。来年度もどうぞよろしくお願い致します。

2学年主任 一万田 裕美



女神湖スキー教室

1年前、小学校を卒業して、まだあどけなさの残る顔に大き目の制服をまとい、入学式を迎えた1年生。中学から始まった教科担任制に慣れるまでは、帰りの学活で教室に教員が戻ると「先生、久しぶり」の声をかけてくれる場面もありましたが、今では教室間の移動や定期考査への取り組みも堂に入ったもので、頼もしさを覚えるようになりました。

女神湖移動教室、運動会、赤土祭、都内巡り等の様々な学校行事を通して、多くの生徒が第1学年の合言葉である「正しい判断・行動」を、その時々で考えることが多かった1年間でした。中学校という新しい環境で、自分は「どうすべきか」「どうあるべきか」を彼らが考え続けたことが、きっと自らを成長させてくれたと確信しています。このような状況の中、例年とは違った形でしたが、卒業式が行われました。立派に卒業証書を受け取る3年生の姿に、未来の彼らを重ね、期待が膨らみました。来年度は、いよいよ2年生。一步步中学校での生活も進んでいきます。人間関係もより広く深くなるでしょう。部活動等でも後輩を迎える立場となります。中堅学年として、落合二中の立派な柱になってくれることを期待しています。



落語鑑賞教室

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、来年度も変わらずのご支援をいただければ幸いです。

1学年主任 井出 敦大

## 安田先生、東京都「Good Coach賞」に輝く!

『東京都教育委員会は、生徒の発育・発達や能力・志向に応じ指導目標や指導計画により、生徒が生き生きとした学校生活を送れるような運動部活動及び文化部活動指導を実践している顧問教諭を東京都「Good Coach 賞」として表彰し、これを広く顕彰する。』としています。今年度は、安田裕昭先生が受賞されました。ソフトテニス部顧問として豊富な経験に基づいた技術指導と「規範意識の向上」や「あいさつの励行」を柱に、生徒同士の人間関係に配慮しつつ相互に高めあう指導をされている点、またその信条をもって、生活指導主任として本校生徒の健全育成推進の指揮を執っている点、運動会で「得点にならないところまで頑張る」をモットーに自発的な活動を促し、生徒に大きな達成感をもたせた点等が評価され、受賞されました。

### ◆ 落二中の生徒たちの頑張り紹介 ◆

- **体育優良生徒表彰** N. K (3C) K. R (3A)
- **産業教育奨励賞** I. M (3B) F. T (3C)
- **新宿区生徒表彰**  
 「地域における文化的な活動に努力し、幼児・児童・生徒の模範となる活動」 **吹奏楽部**  
 「令和元年度全国人権作文コンクール東京都大会優秀賞」 Y. A (3C)  
 「第7回東京伝統武術交流大会に於いてジュニア総合1位をはじめとする  
 顕著な成績及び学校における生徒の模範となる活動」 O. S (2B)
- **第63回全国学芸サイエンスコンクール「旺文社赤尾好夫記念賞<金賞>」** A. S (2A)
- **第12回中学生料理コンテスト** **優勝作品賞** I. T (2A) I. S (2B) Y. H (2B)  
**入選** I. I (1A) H. S (1B) M. A (1C)  
**審査員奨励賞** 。 Y (1D)
- **2019年度選挙啓発ポスターコンクール** **入選** O. S (2B)  
**佳作** T. K (2B)